

彩湖自然学習センターミニ図鑑

学習センターのまわりは春満開！ここで見られる生きものたちを紹介するよ。
ミニ図鑑を持って春を見つけに行こう～

彩湖の春をさがそう

3～5月版

みつけたよ！BOX



みつけた植物に (もしくは日付) を書こう！
いくつ見つかるかな？



シロツメクサ

クローバーの名春から秋にかけて白い蝶形の花を球状につけます。



ナズナ

春の七草の一つ。ペンペン草。ミニ彩湖の階段脇にたくさん咲きます。



タネツケバナ

苗代の種つけの時期からこの名があらわれます。

ヘラオオバコ

大型の外来オオバコ。白く突き出ている花のような部分はおしべ。



ハルジオン

繁殖力が強く、外来生物法の要注意種となっています。



ニワゼキショウ

北アメリカ原産の帰化植物。5～6月、日当たりの良い草原に白や紫色の花を次々と咲かせます。

キュウリグサ

葉をもむとキュウリの香りがします。水色と黄色の小さな花がきれい。



スギナ (ツクシ)

春の訪れを感じさせてくれる植物。ツクシはスギナの胞子茎。



ホトケノザ

道ばたでよく見られる草。花は白く、葉は心臓形。葉の裏に小さな白い点があります。



ヒメオドリコソウ

ホトケノザに似ていますが、葉の裏に白い点がありません。



カラスノエンドウ

センターの周りにたくさんあります。春の講座では天ぷらにします。



スズメノエンドウ

カラスノエンドウより小さいことから、スズメ(=小さいの意)の名に。



チョウジソウ

5月ごろ青紫色の涼しげな花を咲かせます。湿った半日陰を好みます。



オオイヌノフグリ

早春のまだ寒いころから可憐な花を咲かせます。ミニ彩湖の階段にたくさん咲きます。



サクラソウ

昔、戸田に自生していたものを市の保存会が保護し育てています。その一部をセンターでも育てています。

トダスゲ

戸田が原で発見されたため、戸田の名前がつきました。絶滅危惧種で、センターでも大切に育てています。



ヤブヘビイチゴ

花後に赤いイチゴのような実がつけます。毒はありませんが、美味しくない。



コメツブツメクサ

5～7月、黄色い小さな花を階段脇一面に咲かせます。



カントウタンポポ

日本に昔からあるタンポポ。生育環境の変化で、数が減っています。



コウゾリナ

茎や葉にちくちくしたトゲがあることから髪剃り(こうぞり=かみそり)の名があります。



カタバミ

クローバーと間違われますが、一トミは葉がハジミ型。ヤマトシジミの食草。かじるとすっぱい。



イワニガナ(ジシバリ)

地面をはう茎が、地面をしばっていきながら見えることから道端の土手を黄色く染めます。



スイバ

スキャンポと呼ばれ親しまれてきました。たばこ、シユウ酸を含むため、かじると酸っぱい。草。



ヨモギ

春の新芽でよもぎ餅、天ぷらを作ります。開花は秋。